



申年の主役たちが大集合！（わんぱーくこうちアニマルランド）

主な内容

- 2頁 高知市議会だよりは200号を迎えました
歴史情緒を観光に生かす
- 3頁 12月定例会を振り返って 会派の意見
- 4頁 持続可能な公共施設サービスの
提供に向けて
可決した主な議案
- 5頁 全力で児童虐待防止対策を
男女がともに輝く高知市へ
休憩室
- 6頁 地域の力で災害に備える
競輪事業に若い力を
請願・陳情の結果
請願・陳情の出し方
- 7頁 委員会の活動
- 8頁 意見書

12月定例会（第453回）を12月7日から24日までの18日間の会期で開催しました。開会日には、岡崎市長が4期目の市政運営に臨む所信表明を行いました。また、一般会計補正予算など28件の議案について提案理由説明を行いました。

10日から17日までの質問では、代表質問に5人、個人質問に18人（うち11人が一問一答方式を選択）が立ち、市長の政治姿勢、教育行政、防災対策、子育て支援策、商工観光行政などについて質問を行いました。

市長提出議案 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正議案など、28件の議案を全部原案のとおり可決または承認しました。

17日には、教育長の選任議案が追加提案され、同意しました。

議員提出議案等 選挙管理委員会委員および補充員の選挙を行いました。また、森林・林業政策の推進を求める意見書議案など8件の議案を提出し、うち5件を可決しました。

歴史情緒を観光に生かす

問 街路市の出店基準の変更と、日曜市周辺の飲食店の充実について聞く。

答 これまででは出店者を県内の生産農家または漁業者のみとしていたが、手作り食品や手作り工芸品等の製造者も選考の上で出店で

このうち手作り食品は、自家製農産物または街路市で調達した食材を使った加工食品も対象とし、併せて、ストーブ等を使用して保温した食品の販売を28年1月から可能としたことから、その場で食べられる加工食品が増えるなど、利用者のニーズへの対応幅が広がるものと考えて

一年を通じて旬の食材が並び、観光客にも人気のある日曜市ですが、平成26年度に策定された「街路市活性化構想」に沿つてさまざま見直しが実施されています。また、29年は坂本龍馬没後150年、大政奉還から150年、翌30年は明治維新から150年という節目の年に当たり、本県では幕末から明治をテーマに博覧会が開催される予定です。これらに取り組むことは、高知ならではの観光資源を磨き上げるとともに、「歴史観光」という新たな魅力を創出するチャンスでもあります。

市議会だよりは、その前身の「高知市議会ニュース」として昭和24年1月に創刊されました。これは全国で6番目（行政広報・議会広報研究会調査）であり、また本市の行政広報（「高知市広報あかるいまち」の前身「市政ニュース」）の創刊よりも1カ月早い発行でした。

創刊号は、議会や委員会の開催状況の掲載に併せ、他都市が新設した税に関する情報やアメリカの都市と高知市の予算比較表など、GHQ（連合国軍総司令部）の施政下にあった当時の世相を反映した紙面構成でした。

當時は公共施設のほか、理・美容室など集客が多い店などに置かれ、閲覧されていたようです。以降、議会機関紙として議会の動きや地方自治に関する資料を提供するなど、市民を意識した「对外広報」として発行を続けてきました。

高知市議会だよりは200号を迎えました

■ 200号発刊に寄せて

答 史観光について聞く。
大政奉還150年について
では、京都市が中心となつて設立する記念プロジェクト連絡協議会に参画し、関係都市間で交流・連携事業等の協議を開始している。龍馬没後150年については、全国龍馬社中などの関連団体や関連都市と連携し、事

また、周辺の飲食店に、営業時間を日曜市に合わせてもらうなど、日曜市と周辺飲食店舗が相互に連携して、集客人数の増加を図る取り組みにも着手して

市議会だより第2000号と聞いて、これまでの本市議会の歴史に感服いたしております。多くの諸先輩方が侃々諤々議論された結果が現在の高知市の姿であり、我々の議会での議論が、次に第300号に寄稿される議員にとつて振り返るに値する歴史となるよう益々精進してまいります。

答 色ある看板の設置について聞く。観光客にアピールする特
町の歴史や情報を見板の設置について聞く。観光客にアピールする特
に分かりやすく発信するほか、QRコードなどを使つて本市ホームページ
など個性化を図ることや、QRコードなどを使つて本市ホームページ
ページの観光情報を見ら
れる機能を加えるなどの工夫を
検討していく。

業内容を検討していく。



高知市議会だよりの変遷 (年表)

- 昭和24年1月 「高知市議会ニュース」創刊（旬報）
 - 昭和27年4月 「高知市議会週報」創刊
 - 昭和31年9月 「高知市議会ニュース」復刊
 - 昭和41年4月 「高知市議会だより」に移行
 - 平成3年2月 「高知市議会だより」100号発行
 - 平成28年3月 「高知市議会だより」200号発行

7日	審議日程	(12月定例会)
10日	市長提出議案提案理由説明	開会
11日	竹内千賀子(市民クラブ)	代表質問
12日	中澤はま子(新風クラブ)	
13日	戸田二郎(新こうち未来)	
14日	迫哲郎(日本共産党)	
15日	山根堂宏(公明党)	個人質問
16日	福島明(新こうち未来)	
17日	岡崎邦子(市民クラブ)	
	吉永哲也(新風クラブ)	
	川村貞夫(新こうち未来)	
	長尾和明(市民クラブ)	
	高木妙(公明党)	
	浜口佳寿子(日本共産党)	
	はた愛(日本共産党)	
	岡崎豊(市民クラブ)	
	大久保尊司(公明党)	
	近森正久(みどりの会)	
	細木良(日本共産党)	
	水口晴雄(新風クラブ)	
24日	氏原嗣志(新こうち未来)	
25日	伊藤弘幸(公明党)	
26日	寺内憲資(公明党)	
27日	浜口卓也(新こうち未来)	
28日	岡田泰司(日本共産党)	
29日	人事議案提案理由説明	
30日	採決	
31日	採決閉会	
1月1日	常任委員長報告	
1月2日	常任委員会	討論

12月定例会で可決した 主な議案

○デマンド型乗合タクシー運行事業者選定審査委員会条例制定議案

デマンド型乗合タクシー運行事業を行なう事業者の選定に係る審査を行うため、標記委員会を設置することについて、条例を制定するもの。

○わんぱーくこうち条例の一部改正議案

わんぱーくこうち内において禁止される行為および許可を要する行為について見直しを行うとともに、特別の事由がある場合に使用料を後納とすることができるようになるため、条例の一部を改正するもの。

○指定管理者の指定に関する議案

青年センターの指定管理者を指定することについて、市議会の議決を求めるもの。

持続可能な公共施設サービスの提供に向けて (公共施設マネジメント)

本市では、高度経済成長に伴う都市化や人口増加を背景に、多くの公共施設を整備し保有してきました。しかし、これらの施設の中には、類似・重複しているものや市民ニーズの変化に伴い設置意義が薄れているものがあるなど、非効率な状況となっています。

さらに、建設後30年を経過した施設には、災害時に避難所として活用されるものや、市役所・消防署など公共サービスの根幹に関わるものもあるため、全ての施設を一律に削減するのではなく、施設機能の向上や用途の変更、近隣施設への複合化など、総合的に判断した上で取り組む必要があると考えています。

問 平成27年度中に策定をしている公共施設マネジメント基本計画の案について聞く。

答 同基本計画案では、施設の管理、機能、総量それぞれの最適化を図ることを基本目標としており、建設時だけでなく、維持管理も含めたコスト縮減を図っていく。平成28年度以降は、27年3月に作成した公共施設白

書をもとに、各施設の機能や目的別の再編・再配置計画および長期修繕計画を順次策定していく。数値目標としては、今後40年間で約30%の総量削減を掲げているが、公共施設には、災害時に避難所として活用されるものや、市役所・消防署など公共サービスの根幹に関わるものもあるため、全ての施設を一律に削減するのではなく、施設機能の向上や用途の変更、近隣施設への複合化など、総合的に判断した上で取り組む必要があると考えています。

問 公共施設マネジメント基本計画における環境配慮の視点をどのように進めるのか聞く。

答 同基本計画案における機能の最適化の取り組みとして、安心して暮らせる環境を次世代に残すため、低炭素、循環型エネルギーの利用促進により環境負荷の低減を行うこととしている。

問 本市の公共施設の約3分の1を占める学校教育施設の長寿命化計画の策定について聞く。

答 公共施設マネジメント基本計画案では、28年度から施設の状況を客観的に判断する材料となる施設カルテの作成に着手とともに、29年度をめどに、それを基にした再配置計画や、長寿命化を含めた長期修

保護に向けて取り組みを進めていく。

人事議案等

12月定例会中の17日に教育長

の選任議案が提出され、同意しました。

問 新たに建設する施設についての考え方聞く。

答 今後の公共施設の整備や運営については、直営や民営、指定管理等、多様な手法の検討が必要となる。

例えば、民間の資金や能力等を活用する手法として代表的なPFIについても、事業者が施設を建設した後、所有権の移転や運営・維持管理主体の移設時期によって、さまざまな事業方式に分けられ、国や他の自治体で導入されている事例もある。

教育長

横田 寿生

稲田 良吉
木藤 善治

友永 善恵
新名 實

選挙管理委員会委員
同補充員
長澤 紀美子
松岡 章雄
山中 信雄
清遠 純子



府舎をはじめとする大規模施設については、今後建て替えや大規模改修を行う際、使用エネルギーの自動監視による制御や、データ収集による分析を行うこととしている。

また、その他の施設においても、日常点検マニュアルの整備など、省エネによる環境

整備計画といつた実施計画を順次策定していくこととしている。

個別施設の長寿命化計画は、これらの実施計画に含まれる形で策定される予定となつておらず、学校教育施設の長寿命化計画については、さらに文部科学省から示された手引きに基づき策定していく。

高知市議会だより



委員会の活動

11月1日から
1月31日まで

経済文教委員会

協議会条例の一部改正議案など5件の議案の審査を行いました。国民健康保険条例の一部改正議案は賛成多数で、その他の議案は賛成多数で全員賛成で可決しました。また、高知市新型インフルエンザ等対策行動計画について報告を受け、併せて政策・施策評価について対象施策のヒアリングを行いました。

12月定例会

18日に、平成27年度産業立地推進事業特別会計補正予算など8件の議案の審査を行いました。

12月4日

政策・施策評価について対象施策選定の協議を行いました。

厚生委員会

政策・施策評価について対象の議案の協議を行いました。

12月3日

政策・施策評価について対象施策選定の協議を行いました。

18日、21日に、医療安全推進

建設環境委員会

政策・施策評価について対象の議案の協議を行いました。

12月2日

政策・施策評価について対象の議案の協議を行いました。

12月定例会

政策・施策評価について対象の議案の協議を行いました。

18日、21日に、津波避難センター条例の一部改正議案など13件の議案と、請願1件、陳情2件の審査を行いました。

12月定例会

政策・施策評価について対象の議案の協議を行いました。

18日、21日に、都市公園条例の一部改正議案など5件の議案と、陳情1件の審査を行い、いずれも全員賛成で可決し、陳情1件の審査を行いました。

総務委員会

政策・施策評価について議会意見の協議を行いました。

1月28日・29日

茨城県にて、浄化槽の一括契約、神奈川県平塚市にて、路面下空洞調査、都立小平霊園にて、同霊園の運営について視察を行いました。

1月19日

政策・施策評価について議会意見の協議を行いました。

特別委員会

公共施設マネジメント基本計画（案）についてなど3件の報告を受けました。

行財政改革・新庁舎整備調査特別委員会

政策・施策評価について対象の議案の協議を行いました。

11月19日

また、高知市男女共同参画推進プラン2016（原案）について報告を受けました。

南海地震等災害対策調査特別委員会

政策・施策評価について対象の議案の協議を行いました。

11月18日～20日

宮城県東松島市にて、あおい地区まちづくり整備協議会、女川町にて、まちなか再生計画、石巻市にて、東日本大震災の復興状況、名取市にて、閑上地区まちづくり協議会の視察を行いました。

正議案、収入証紙条例の一部改正議案、税条例の一部改正議案、新市まちづくり計画の一部変更に関する議案2件の計6件は賛成多数で、その他の議案はいずれも全員賛成で可決または承認し、請願1件、陳情2件の結果を出しました。

過去1年間の本会議（定例会）について、インターネットで配信しています。高知市ホームページから議会中継（録画）専用ページに入ると視聴できます。会議日や質問など3件の報告を受け、併せて政策・施策評価について対象施設のヒアリングを行いました。また、とさでんモニタリング議員名、発言内容の語句等から検索も可能です。

会議録の閲覧

12月定例会本会議の会議録は3月上旬にできる予定です。

本町仮庁舎1階の情報公開セントラル、同6階の議会図書室でご覧になります。

また、高知市ホームページ上で、本会議は平成6年12月定例会以降、委員会は16年4月以降の会議録をご覧いただけます。

会派の構成と電話・FAX番号

市民クラブ（8人）☎ 823-9402 FAX 802-3055
新風クラブ（7人）☎ 823-9401 FAX 871-2811
日本共産党（7人）☎ 823-9404 FAX 823-9558
公明党（6人）☎ 823-9403 FAX 871-2485
新こうち未来（5人）☎ 823-9406 FAX 822-8119
みどりの会（1人）☎ 823-9476 FAX 823-9350※

※議会事務局直通のFAX番号です。

